

取引先さまとともに

基本的な考え方・方針・体制

考え方

「SDGs」(持続可能な開発目標)や、大阪万博調達コードの遵守要請等、環境面だけではなく社会面にも配慮した調達活動が求められています。ノーリツグループは持続可能な調達活動を目指し「ノーリツグループサステナブル調達ガイドライン」を基に調達活動をおこなっています。

調達方針

ノーリツグループは事業活動のために必要な部品などの調達にあたり、ビジネスパートナーと対等かつ公平な立場で取引をおこない、サプライヤーとの共存共栄に努めます。

調達活動の詳細はこちら > <https://www.noritz.co.jp/company/about/dealer.html>

推進体制

2013年から資材購買部門を中心としたCSR調達ワーキングを設置し、調達方針やノーリツグループサステナブル調達ガイドラインなど、関連施策を策定・展開しています。また、グループ会社および、調達先のSAQアンケートのとりまとめや、現地調査、研修などをおこない、リスク評価・改善を実施しています。

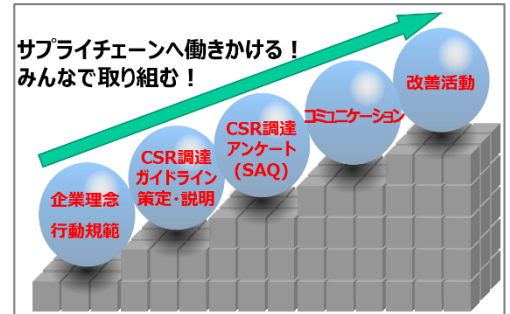
また、マテリアリティテーマとして、KPIを定め、年2回のCSR委員会※にて進捗を報告しています。

※取締役と執行役員を構成員としたESGテーマを監督する会議体

取り組み

サステナブル調達

ノーリツグループは、サプライチェーン全体でサステナブル調達レベルを引き上げることで、リスク回避と機会の創出をし、ブランド力向上を目指した、サステナブル調達活動を進めています。



ノーリツグループサステナブル調達ガイドラインの浸透

ノーリツグループは、「トリプルウィン調達」(社会のウィン、仕入先さまのウィン、企業のウィン)を実現するため、仕入先さまと協働しサステナブル調達活動を推進しています。2014年にノーリツグループサステナブル調達ガイドラインを制定し、CSR調達有識者の講演会や社内教育に加え、グループ会社や仕入先さまへの説明会を開催し、ノーリツグループ従業員のみならず、既存・新規の仕入先さまへのご理解と遵守をお願いしています。

ノーリツグループサステナブル調達ガイドライン (PDF:184KB) >

https://www.noritz.co.jp/company/csr/pdf/social/Sustainability_guideline_supplychain.pdf

ノーリツサプライチェーンサステナブル調達の実施(仕入れ先さまのリスク評価)

ノーリツは、新規および既存の仕入れ先さまへ、リスク評価とデューデリジェンスをおこなっています。GCNJ版SAQ※1を活用して、環境・社会・ガバナンス(ESG)に関するアセスメントを実施し「ノーリツグループサステナブル調達ガイドライン」に照らして評価しています。

2015年から主要仕入れ先さまへのSAQ実施と、対話を通じたフィードバックをおこない、さらに仕入れ先さまからもノーリツの調達活動に対する評価※2を匿名で確認しています。ISO9001の取引先評価基準書にも「ノーリツグループサステナブル調達ガイドライン」への遵守を折り込み新規取引先選定の基準としています。

なお、SAQ結果より、仕入れ先さまの違反がないことを確認しています。

※1仕入れ先さまへの自己評価アンケート(Self Assessment Questionnaire)

※1※2コーポレートガバナンス(腐敗防止を含む)、人権、労働、環境、公正な企業活動、品質・安全性、情報セキュリティ、サプライチェーン、地域社会との共生の分野を確認

サプライヤー現地訪問調査

「ノーリツグループサステナブル調達ガイドライン」に従い、仕入れ先さまに対してノーリツ関係者が直接、製造もしくは生産現場を訪問し、取り組み状況を調査しています。

現地訪問調査では、人権の尊重、お客さまの満足度向上、法令遵守と企業倫理にもとづいた企業活動、公正で透明性のある取引、地球環境・社会との共生、労働環境の整備 などの課題に対して、訪問先の地域特性やビジネスの実態に合わせて多面的な調査をおこなっています。

訪問した仕入れ先さまには「CSR 調達改善活動の対応計画※」と KPI の作成をお願いし、毎年振り返りを実施しています。

違反事項については、仕入れ先さまに対する改善活動を実施しています。仕入れ先さまへのトレーニングや啓発活動、支援、是正勧告などをおこない、環境・社会面での対応を促します。これら活動を通して改善が見られない場合は、仕入れ先さまの取引見直しを検討します。

2022 年は 9 社を訪問し、現地調査及び、コミュニケーションを実施しました。また、研修会も実施しエンゲージメントを計りました。また、2022 年はグループ会社 2 社に対して新たにサステナブル調達研修を行いました

※経済的価値向上と社会的価値向上、環境的価値向上を両立した継続的改善(自発的 PDCA)の行動計画

サプライヤーへのサステナブル調達調査 および評価のデータについてはこちら(PDF:361KB) >

https://www.noritz.co.jp/company/csr/pdf/2019_esg_data_society.pdf#page=6

紛争鉱物対応

ノーリツでは 2014 年度より紛争鉱物調査をおこなっており、仕入先さまに対して紛争鉱物説明会をおこなっています。RMAP※(Responsible Minerals Assurance Process、旧 CFS プログラム)に沿った管理データベースを構築し、製品の構成情報から部品に展開し調査をおこなっています。今後も引き続き、信頼のおける調達活動を推進していきます。

※製錬所が扱う鉱物が紛争や人権侵害に加担していない調達源であることを第三者が認定するプログラム

紛争鉱物調査実績累計のデータについてはこちら(PDF:361KB) >

https://www.noritz.co.jp/company/csr/pdf/2019_esg_data_society.pdf#page=6

国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(GCNJ) サプライチェーン分科会への参画

ノーリツは、2013 年度より国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(GCNJ)が主催する、サプライチェーン分科会に参画しています。サプライチェーン分科会が考える CSR 調達※に賛同し、社会からの要請の把握や意見交換の場として活用しています。

さらに、持続可能な社会を実現するための CSR 調達ツール製作やその普及など、参画企業とともに取り組んでいます。関西企業代表として分科会の会場提供を行うなど、関西の持続可能な調達基盤作りにも貢献しています。

GCNJ の活動と成果・報告 持続可能な世界実現のためのお役立ちシリーズ「CSR 調達 セルフ・アセスメント・ツール・セット」>

<https://ungcnj.org/activities/help/index.html>



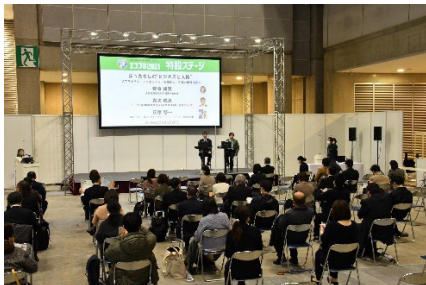
関西の CSR 調達を推進する取り組み

ノーリツは、関西 SDGs プラットフォームにも加盟しており、2018 年には国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(GCNJ)共催の「SDGs 時代のビジネス:企業の社会的責任と調達」～ビジネスチャンスを見逃さないための責任ある調達対応セミナー～にノーリツ資材購買本部がパネリストとして登壇しました。CSR 調達を意識するようになったきっかけ、現状、工夫していることなど、具体的事例を説明し、約 170 名の参加者や登壇者と理解を深めました。



日本最大級の環境展示会「エコプロ 2021」に貢献

ノーリツは、2021 年 12 月、サステナブル経営推進機構・日本経済新聞社主催「エコプロ 2021」特設ステージで、国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(GCNJ)企画セミナー「まったなしの“ビジネスと人権”～サプライチェーンマネジメントを強化し、企業の価値向上へ～」へスピーカーとして登壇しました。サステナビリティ経営が求められる国際潮流の中で、環境と共に人権への関心が高まっており、企業がサプライチェーン全体の中でどのように取り組むのか、CSR 調達事例を説明し、参加者や登壇者と理解を深めました。

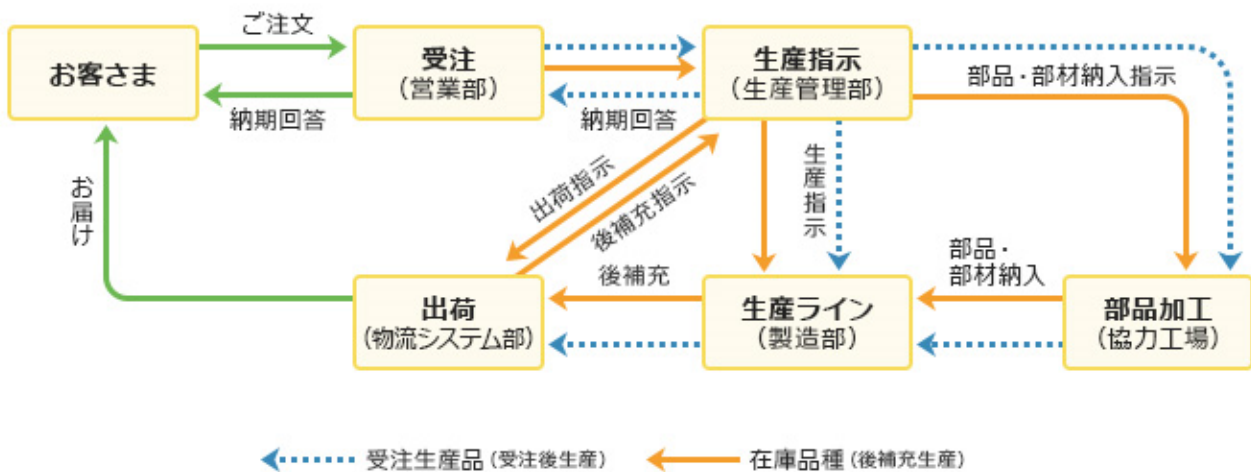


社会からの期待に応える調達活動

NRPS

ノーリツグループは、お客さまのご期待にタイムリーにお応えするため、必要とされる商品を必要な時にお届けする「NRPS※生産方式」を採用しています。この方式は、あらゆる無駄を無くし、お客さまのもとへ商品を短納期でお届けすることを旨とするノーリツ独自のものです。明石本社工場のガス温水器ラインをはじめ、当社グループの各事業所における生産ラインでも採用しています。

※NORITZ Production System



定められた在庫を持つ「後補充生産方式」と、在庫を持たず注文によって生産する「受注生産方式」を併用しています

NRPS (NORITZ Production System) 研修

この研修はものづくりにおける優れた考え方をノーリツグループで共有し、展開することを目的におこなっています。NRPS 推進室のメンバーがグループ会社や仕入先に出向き、各工場のメンバーに工程改善のための研修会（基礎講座、標準作業研修会、巡回研究会）と、実際の現場改善（支援会）を計画的に実施しています。

※2020年度はコロナ禍により現場改善（102回）以外は中止

2019年度は研修会（5回、21社 90名）、改善事例発表会（2回、39社 213名）、現場改善（174回）を実施し、「NRPS 生産方式」の進化・伝承に繋げていきます。

これらの取り組みを継続することで受注～出荷までの工程改善をおこない、ものづくりに強いノーリツグループを実現します。



NRPS 研修風景

| 製品の環境負荷低減とサプライチェーン

ノーリツグループは、化学物質管理システムの構築と情報開示、化学物質監査などによるグリーンサプライチェーンの強化に取り組んでいます。詳しくはこちらをご覧ください。

環境負荷物質の削減と管理 > https://www.noritz.co.jp/company/csr/pdf/kankyou/reduction_management.pdf